

次世代ペプチド創薬によるタフターゲットへの挑戦



講演者：一丸ファルコス株式会社

坂元 孝太郎 博士

日 時：令和3年12月17日（金）13:30-15:00

申込方法：下記のお問い合わせ担当へ前日までご連絡下さい（参加費無料）。

講演要旨

創薬の二大メジャーモダリティである低分子と抗体でも攻略が難しいタフターゲットに対する創薬手法として、低分子と抗体（高分子）の中間の分子量を有する中分子、特にペプチドの活用が注目されている。ここでは演者が見出してきたペプチドの中から、癌領域のタフターゲットおよび中枢神経系疾患領域のタフターゲットに対する試みを紹介する。

講演者略歴

鹿児島大学大学院理工学研究科にて工学博士を取得後、2007-2017年まで、武田薬品工業株式会社にて創薬の初期段階である探索研究に従事した。タンパク質-タンパク質間相互作用をはじめとする、難易度の高い創薬ターゲットに対して、結合することで活性化や阻害活性を示す新規分子を創出してきた。特に中分子創薬を目的としたペプチドスクリーニングにおいては、社内の第一人者として複数の創薬プロジェクトをリードし、競合他社には難しかったターゲット分子に対しても活性ペプチドを見出してきた。2017年に化粧品原料メーカーである一丸ファルコス株式会社に入社すると、化粧品原料の開発と並行して、前職での経験を活かした新規事業の創出にも挑戦している。

問い合わせ先：超越バイオ医工学研究拠点長 都 英次郎
（ 担当：研究施設支援係 sien@ml.jaist.ac.jp ）